

建築生産（A 専門科目）

科目名：

建築生産（英文科目名：Building Production）

2単位 建築学科5年 通年 講義

担当教官：

奥富利幸（居室：建築学科棟2階）Email:okutomi@oyama-ct.ac.jp

授業目的：

建築生産における組織、制度、仕様、設備、運営、活動の状況などを体系的に把握し、建築をつくるための全体的な仕組みを理解する。

達成目標：

現代の建築生産に関わる様々な問題点を正確に理解し、改善のためになすべきことを提言できること。

教科書：

大岸佐吉、山中五郎「現代建築生産」オーム社

参考書：

学習方法：

予習-教科書を読む。

授業-講義の内容をノートに整理して理解する。

復習-雑誌などから授業内容に関連する記事を収集して分析する。

学習保証時間：

講義 100 分[時間/週]× 30[週]= 3000 分/年= 50 時間/年

試験 2 回/年

キーワード：

建築生産、施工、契約、産業革命、工業化、大量生産、品質、工程、原価、標準化、労働集約型、複合化、品質管理、IT 革命、ゼネコン、コンストラクションマネジメント

授業内容：

1. 建築生産の範囲と概念
2. 建築生産の歴史
3. 設計図書と請負契約
4. 施工計画と施工管理
5. 施工設備
6. 躯体工事
7. 仕上工事
8. 外構工事
9. 建設と環境
10. 現代建築生産に関する調査・発表

授業方法：

カリキュラム中の位置づけ：

建築をつくる方法を考える生産構法系科目で、生産の観点、つまり、工業化、システム化、品質管理など、マクロな視点で建築をつくる方法を考えるのが建築生産である。

この科目を学ぶために先行して理解する必要のある科目

建築構法計画、鉄筋コンクリート構造、鋼構造、建築設計、建築計画、建築材料

この科目と同時に学ぶ関連科目

建築設備、木構造、建築構造計画、建築法規

この科目の後に学ぶ関連科目

なし

評価方法：

授業への出席状況と定期試験、レポートの内容により評価する。

連絡事項：

なし

学生へのメッセージ：

建築生産への社会的要求は、機械化、量産化、システム化、合理化などに加え、環境への配慮など年々高まるばかりである。日頃からさまざまな社会問題に興味を持ち、建築生産との関連を考えよう。

=====